

遺愛生、高体連でも大活躍、 12部活中11部活が全道出場！！ 放送局も全道へ

5月28日で高体連道南支部大会もほぼ終了しました。遺愛生は本当に大活躍でした。団体優勝は卓球部、剣道部、新体操部、山岳部。個人では卓球ダブルス、剣道部、新体操部そして陸上部2種目、水泳部4種目に優勝しました。羽球部団体、バスケットボール部、バレーボール部が3位で全道大会出場を決めました。また、羽球ダブルス、卓球ダブルス・シングルス、陸上3種目で2位をとりました。弓道部は個人で5位に入り、全道大会に出場します。また、ソフトテニス春季大会を超えて団体3位に入りました。

素晴らしいのは、ほとんどの部活で春季の成績を超えている（あるいは優勝）ことです。バレーボール部は春季と同じ3位ですが、決勝リーグでは、惜しくも負けた試合は全てフルセットの戦いで、どちらに勝負の行方が転んでも不思議のないすごい試合でした。バドミントン部は4位から3位。バスケットボール部は春季はベスト4に入れなかったのですが、高体連はベスト4に入り、3位になりました。今までの自分（自分達）を超えようとし、努力し、実現しているところが本当に素晴らしいです。地区大会では、個人的には不本意だった人もいるかもしれませんが、それは全道大会でその悔しさをはらしてほしいと思います。ぜひ全国大会を目指して、頑張ってください！！

また、放送局も第41回高文連放送発表大会（第64回NHK放送コンテスト道南地区大会）で頑張りました。アックス部門優秀賞・優良賞、朗読部門優良賞、ラジオドキュメント部門優良賞、創作ラジオドラマ部門優秀賞、テレビドキュメント部門優良賞「100年の時代を結ぶ」、創作テレビドラマ部門優秀賞「決意の瞬間」、研究発表部門優良賞「音で伝える」などの各賞を受賞し、NHK杯総合賞第2位となり全道大会に出場します。



2017年5月29日（月）